デーリー東北
2022年（令和4年）12月16日（金曜日）

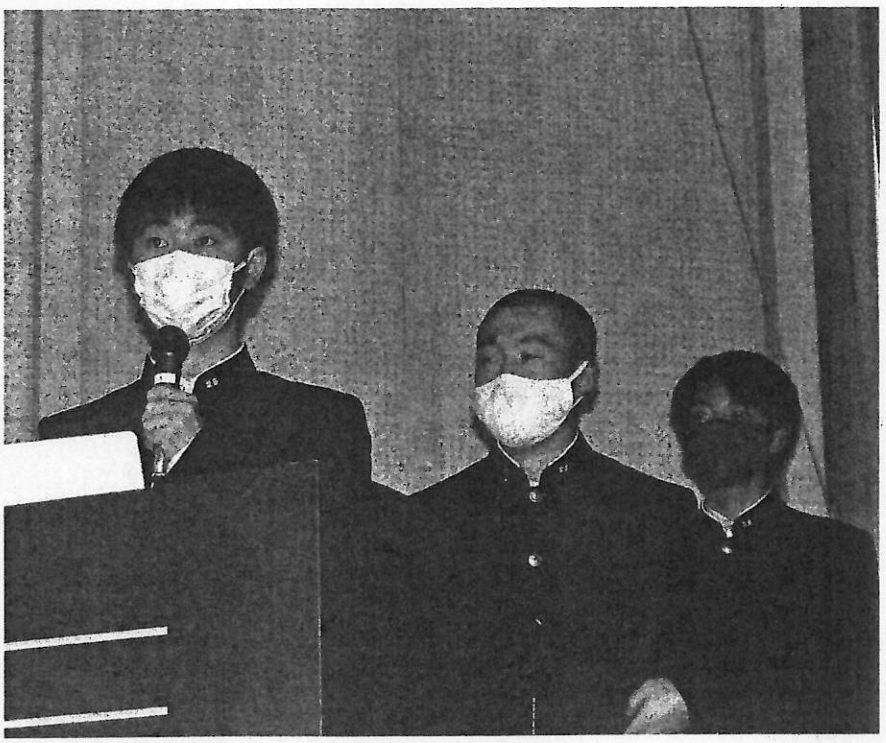
災害に強い橋の構造は

三本木高で校内課題研究発表会

発想豊か 8テーマでプレゼン

十和田

青森県立三本木高（小森直樹校長）のグローバルサイエンスコース2年生による本年度の校内課題研究発表会が13日、同校で開かれ、生徒が理工系の知識を生かした発想豊かな八つの研究成果を披露した。（出川しのぶ）



研究成果を発表する生徒

同コースの37人が8班ごとに独自テーマを決め、4月から週2こまの総合的な探究の時間に研究や実験に取り組んできた。

テーマは▽日本のキャッシュレス化を普及させるための考察▽ペットボトルを使った遊び「ペットボトルフリップ」が成功する仕組みの観察▽シャンプーとリンスインシャンプーの洗浄力の違い▽味覚、視覚、嗅覚のいずれが味の違いを感じさせるか－など。

発表会は各班10分の持ち時間。1、2年生や同校付属中3年生ら約230人を前に、研究の動機や仮説、方法、結果、今後の課題をプレゼンテーションし、会場からの質問にも答えた。

災害に強い橋の構造を題材にした班は、実験に活用する数値解析ソフトウエアを開発した京都大准教授の協力を得て研究したという。同班リーダーの駒ケ嶺史都（ふみと）さん(17)は取材に「将来は防災や気象関係に進みたい。今回の研究を役立てたい」と意欲を示した。